

〔歯科診療〕

6 診療行為の状況

1件当たり点数は1,285.5点で、前年に比べ54.2点、4.0%減少している。

1日当たり点数は607.4点で、前年に比べ0.6点、0.1%増加している。診療行為別にみると、「歯冠修復及び欠損補綴」260.2点(構成割合42.8%)が最も高く、次いで「処置」99.2点(16.3%)、「医学管理等」74.9点(12.3%)の順となっている。

1件当たり日数は2.12日で、前年に比べ0.09日減少している。(表9、図11)

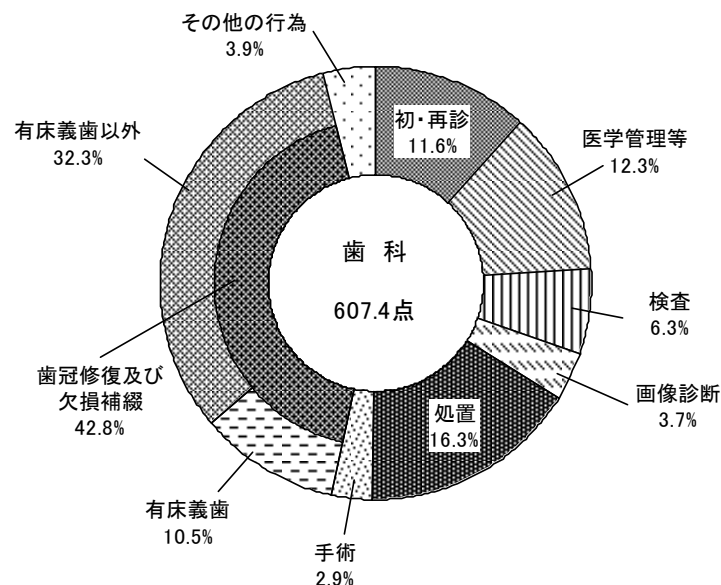
表9 診療行為別にみた1件当たり点数・1日当たり点数・1件当たり日数

(各年6月審査分)

診療行為	1件当たり点数				1日当たり点数			
	平成20年 (2008)	平成19年 (2007)	対前年		平成20年 (2008)	平成19年 (2007)	対前年	
			増減点数	増減率(%)			増減点数	増減率(%)
総数	1 285.5	1 339.8	△ 54.2	△ 4.0	607.4	606.8	0.6	0.1
初・再診	149.2	152.7	△ 3.5	△ 2.3	70.5	69.2	1.3	1.9
医学管理等	158.6	126.0	32.6	25.8	74.9	57.1	17.9	31.3
在宅医療	11.2	10.0	1.2	12.3	5.3	4.5	0.8	17.2
検査	80.6	79.7	0.9	1.1	38.1	36.1	2.0	5.5
画像診断	48.0	49.1	△ 1.0	△ 2.1	22.7	22.2	0.5	2.1
投薬	21.8	23.5	△ 1.7	△ 7.3	10.3	10.6	△ 0.4	△ 3.3
注射	1.2	1.1	0.1	4.8	0.6	0.5	0.0	9.3
リハビリテーション	0.2	0.1	0.1	67.3	0.1	0.1	0.0	74.6
処置	210.0	225.6	△ 15.6	△ 6.9	99.2	102.2	△ 3.0	△ 2.9
手術	37.9	41.3	△ 3.4	△ 8.3	17.9	18.7	△ 0.8	△ 4.3
麻酔	3.4	2.9	0.5	18.4	1.6	1.3	0.3	23.5
放射線治療	0.3	0.2	0.1	89.1	0.1	0.1	0.1	97.3
歯冠修復及び欠損補綴	550.7	619.2	△ 68.5	△ 11.1	260.2	280.4	△ 20.2	△ 7.2
歯科矯正	2.3	0.4	1.9	477.2	1.1	0.2	0.9	502.1
病理診断	0.7	0.3
入院料等	9.5	7.9	1.5	19.4	4.5	3.6	0.9	24.6
(1件当たり日数)	(2.12)	(2.21)						

図11 診療行為別にみた1日当たり点数の構成割合

(平成20年6月審査分)



注: 「その他の行為」は、「在宅医療」「投薬」「注射」「リハビリテーション」「麻酔」「放射線治療」「歯科矯正」「病理診断」及び「入院料等」である。

7 一般医療と長寿医療別にみた診療行為の状況

1件当たり点数は、一般医療 1,238.1 点、長寿医療 1,629.8 点となっている。

1日当たり点数は、一般医療 595.9 点、長寿医療 679.8 点で、年齢階級別にみると、「75歳以上」678.4 点が最も高く、次いで「15～39歳」617.8 点となっており、「0～14歳」494.6 点が最も低くなっている。診療行為別の構成割合をみると、長寿医療は、一般医療と比べ「歯冠修復及び欠損補綴」の割合が高く、「処置」の割合が低くなっている。

1件当たり日数は、一般医療 2.08 日、長寿医療 2.40 日となっている。(表 10、図 12)

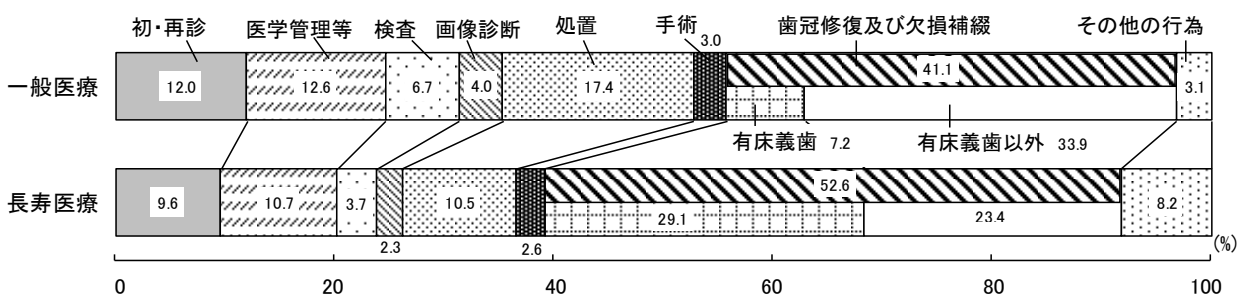
表 10 一般医療 - 長寿医療 - 年齢階級別にみた診療行為別 1 件当たり点数・1 日当たり点数・1 件当たり日数

(平成20年6月審査分)

診療行為	一般医療	長寿医療	年齢階級				
			0～14歳	15～39歳	40～64歳	65～74歳	75歳以上
		1	件 当 た り 点 数				
総数	1 238.1	1 629.8	803.2	1 238.2	1 295.1	1 413.6	1 623.9
初診・再診	148.3	156.2	164.4	147.2	143.1	150.9	155.2
医学管理	156.5	173.8	132.4	151.0	159.7	171.8	174.9
在宅医療	1.4	82.6	-	-	1.4	8.1	80.2
検査	83.5	59.5	26.2	99.6	92.7	79.2	60.1
画像診断	49.6	36.9	23.5	72.7	47.8	40.8	36.4
投薬	21.3	25.0	8.8	23.3	22.9	23.4	25.3
注射	1.0	2.5	0.1	1.2	1.0	1.5	2.5
リハビリテーション	0.2	0.5	0.2	0.1	0.1	0.4	0.5
処置	215.5	170.7	113.9	245.1	229.0	213.3	170.4
手術	37.3	41.9	25.0	40.1	37.8	40.7	42.3
麻酔	3.5	2.7	3.4	5.2	3.0	2.5	2.7
放射線治療	0.2	1.2	-	0.1	0.2	0.4	1.2
歯冠修復及び欠損補綴	508.5	856.6	300.6	433.3	547.6	668.4	852.4
歯科矯正	2.6	0.0	1.8	8.5	0.5	0.0	0.0
病理診断	0.6	1.1	0.1	0.4	0.6	1.3	1.1
入院料等	8.2	18.7	2.7	10.4	7.5	10.8	18.7
		1	日 当 た り 点 数				
総数	595.9	679.8	494.6	617.8	602.9	607.9	678.4
初診・再診	71.4	65.1	101.3	73.5	66.6	64.9	64.9
医学管理	75.3	72.5	81.5	75.3	74.4	73.9	73.1
在宅医療	0.7	34.4	-	-	0.7	3.5	33.5
検査	40.2	24.8	16.1	49.7	43.2	34.1	25.1
画像診断	23.9	15.4	14.5	36.3	22.3	17.5	15.2
投薬	10.3	10.4	5.4	11.6	10.6	10.1	10.6
注射	0.5	1.0	0.1	0.6	0.5	0.6	1.1
リハビリテーション	0.1	0.2	0.1	0.0	0.1	0.2	0.2
処置	103.7	71.2	70.1	122.3	106.6	91.7	71.2
手術	18.0	17.5	15.4	20.0	17.6	17.5	17.7
麻酔	1.7	1.1	2.1	2.6	1.4	1.1	1.1
放射線治療	0.1	0.5	-	0.0	0.1	0.2	0.5
歯冠修復及び欠損補綴	244.7	357.3	185.1	216.2	254.9	287.5	356.1
歯科矯正	1.3	0.0	1.1	4.2	0.3	0.0	0.0
病理診断	0.3	0.4	0.0	0.2	0.3	0.5	0.4
入院料等	4.0	7.8	1.7	5.2	3.5	4.7	7.8
		1	件 当 た り 日 数				
	2.08	2.40	1.62	2.00	2.15	2.33	2.39

図 12 一般医療 - 長寿医療別にみた診療行為別 1 日当たり点数の構成割合

(平成20年6月審査分)



注: 「その他の行為」は、「在宅医療」「投薬」「注射」「リハビリテーション」「麻酔」「放射線治療」「歯科矯正」「病理診断」及び「入院料等」である。

8 傷病分類別にみた1日当たり点数

1日当たり点数は「新生物」が一般医療、長寿医療ともに最も高く、それぞれ1,994.0点、2,205.5点となっている。次いで「顎、口腔の嚢胞」が高く、それぞれ1,855.8点、1,593.1点となっている。(表11)

表11 一般医療 - 長寿医療別にみた傷病分類別1日当たり点数
(平成20年6月審査分)

傷病分類	一般医療	長寿医療
総数	595.9	679.8
う蝕	617.2	732.0
感染を伴わない歯牙慢性硬組織疾患	338.0	423.2
歯髄炎等	543.8	538.8
根尖性歯周炎(歯根膜炎)等	497.4	559.9
歯肉炎	506.6	103.6
歯周炎等	537.7	554.6
歯冠周囲炎	410.7	762.1
顎、口腔の炎症及び膿瘍	826.1	970.4
顎、口腔の先天奇形及び発育障害	704.8	1 230.9
顎機能異常	631.3	509.6
顎、口腔の嚢胞	1 855.8	1 593.1
顎骨疾患等	743.3	1 078.6
口腔粘膜疾患	259.1	314.3
新生物	1 994.0	2 205.5
口腔、顔面外傷及び癒合障害等	735.4	561.9
補綴関係(歯の補綴)	876.8	820.0
その他	828.3	629.6

注：傷病分類は、「疾病、傷害及び死因の統計分類」(ICD-10(2003年版))を準用した。

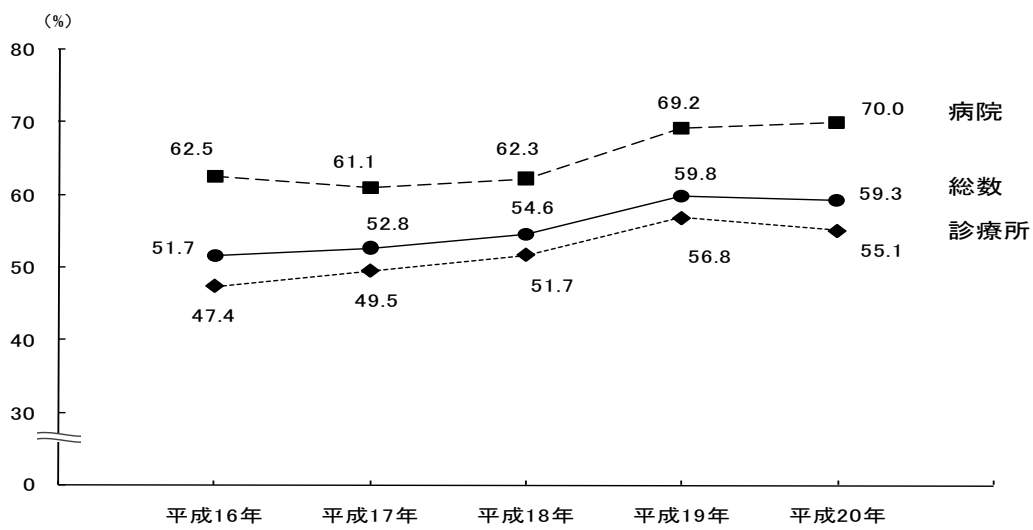
〔院外処方〕

9 院外処方率

医科の入院外における院外処方率は、総数で59.3%となっており、前年に比べ0.6ポイント低下している。これを病院・診療所別にみると、病院70.0%、診療所55.1%となっており、前年に比べ病院は0.8ポイント上昇しており、診療所は1.8ポイント低下している。(図13)

図13 病院 - 診療所別にみた医科の院外処方率の年次推移

(各年6月審査分)



注：院外処方率 = $\frac{\text{処方せん料の算定回数}}{(\text{処方料} + \text{処方せん料})\text{の算定回数}} \times 100$